



宍道高校図書館だより

平成28年
6月15日発行
第3号

陽気や雨に恵まれ、草木がぐんぐん成長する季節になりました。木々の緑や川の水面をながめながら、自然や生き物について思いをめぐらせてみませんか？

図書散見

川遊びとは、昭和30年代くらいまでは子どもたちが最も好む遊びだったことでしょう。「たも」を持って足で川藻を揺らすとフナやナマズが獲れました。「川に親しむ」で、著者の松浦秀俊氏はさまざまな川との関わり合いを語っています。川とはそもそも文明の始まりです。黄河、インダス川、ガンジス川など…。以前、ガンジス川で沐浴をした宍道高校の先生もいました。出雲には斐伊川がありますが、斐伊川は古代出雲の原点です。「出雲国風土記」には、斐伊川は出雲大川と呼ばれ、「年魚、鮭、麻須、伊具比、魴鱧」等が豊富だったと記述されています（『フィールドで学ぶ斐伊川百科』より）。人は、生命としてはルーツを川や海としていることは確実です。それ以外は「イリュージョン（幻想）」でありえる、と行動生物学者の日高敏隆氏は『世界を、こんなふうに見てごらん』の中で書いています。この同じイリュージョンというものを「夢」としてとらえ、田宮虎彦は『足摺岬』という短編の中で、「すべてが夢であった。どこに夢でない真実があるのか。私は、既にきこえなくなった童喜の声をもう一度追いもとめようとしたが、その時、電燈が一瞬はかなくまたいたかと思うと、ふっと、きえた。」と主人公に語らせて、話を終えています。

話を戻しましょう。文明は「川」から生まれましたが、現代人は川との関わりを失いつつあるのではないのでしょうか。飲み水、洗濯、食器洗い、食物採取、遊び…。今や川はコンクリートで固められ、人はその氾濫からは免れましたが、大切なものを失ってしまったのではないのでしょうか。古い人間の口調で語るようですが、昔の川のような確かなものをどこに見出すことができるのでしょうか。このイリュージョンの中でどう生きるか。日高敏隆氏は、前述の著書で自分なりの答えを出しています。参考にしてみてください。

（図書研修部 角森記）

※太字で紹介した図書は、宍道高校図書館にあります。

7月の開館日

■ 休館日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

7月4日、8日は午後のみ利用できます。

宍道高校図書館は 地域の方もご利用になれます

利用できる方

宍道町内在住の18歳以上の方
（登録時に住所等確認できるものがが必要です。）

利用できる日時

月曜～金曜 午前10時～午後4時

休校日や、学校行事・授業等により
利用できない場合もあります。

貸出 一人5冊まで2週間 借りられます。

お問い合わせは

宍道高校（TEL. 0852-66-7577）
図書館 渡部まで

新着図書案内

【島根の本】

- 100文字で伝える「ありがとう」のショートレター（島根県健康福祉部）
家族へ、友達や先生へ、町で出会った方からの親切へ、感謝の気持ちをつづった心温まる本。
- 日御碕神社・須佐神社〈週刊日本の神社〉
日本神話の英雄最期の到達地を写真で紹介。



【歴史・人物伝】

- 歴史を味方にしよう
童門冬二/著（PHP研究所）
歴史作家が、歴史の勉強法や、一生役に立つ歴史とのつき合い方を紹介。
- いしぶみ 広島二中一年生全滅の記録
広島テレビ放送/編（ポプラ社）
原爆で亡くなった中学生たちの実話。
- ハーレムの闘う本屋 ルイス・ミショーの生涯
ヴォーンダ・ミショー・ネルソン/著（あすなろ書房）
人種差別が激しかった時代のアメリカで、黒人のための本屋を開店させたミショーの生涯。

【経済・社会】

- 社会をちょっと変えてみた
ふつうの人が政治を動かした七つの物語
駒崎弘樹、秋山訓子/著（岩波書店）
保育園が足りない！障がい者だって自立して暮らしたい！…身近な不便を自分で解決した実話。
- 経済で読み解く明治維新
上念 司/著（ベストセラーズ）
経済的な視点で歴史を見直す書。
- 990円のジーンズがつくれるのはなぜ？
世界中の企業から洋服の注文が殺到するバングラデシュ。低賃金で働く人々の生活から、世界の喜べない現実が見える。 長田華子/著（合同出版）

【栄養・健康】

- 栄養の教科書（新星出版社）
- 漢方薬事典（主婦と生活社）
- 早わかり目でみる食品&食材成分事典

【コミックエッセイ】

- わたしのウチには、なんにもない。
- ダメな自分を認めたら部屋がキレイになりました
人生が変わる？片づけの実話マンガ。



【趣味・芸術・芸能】

- 石飛博光 暮らしの書道12ヵ月
- スマホカメラを10倍楽しむ本
- 毎日を素敵に残す写真の撮り方
- 古典落語 知っているようで知らない噺のツボ

【日本の小説】

- 獅子吼 浅田次郎/著（文藝春秋）
時代や運命の荒波と向き合いながら生きる人々を描いた短編小説集。
- 死んでいない者 滝口悠生/著（文藝春秋）
通夜に集まった親戚たちが、それぞれに思い出や死について心をはせる物語。芥川賞受賞
- 異類婚姻譚 本谷有希子/著（講談社）
ある日、旦那の顔とそっくりになっていることに気づいた主婦。日常にひそむ奇妙を描いた芥川賞受賞
- 羊と鋼の森 宮下奈都/著（文藝春秋）
ピアノ調律師の青年の成長の物語。本屋大賞受賞
- 誰がために鐘を鳴らす
山本幸久/著（KADOKAWA）
廃校が決まっている高校でハンドベル部を創設した男子高校生たちの、友情、青春、家族の物語。

【手記・実話】

- きょうも箸袋でラブレター
歌代子/著（マガジンハウス）
50代の夫婦が、お弁当の箸袋にことばやイラストを書いてやりとりする、すてきなコミュニケーション。
- 恋した人は車いす
「障がい」を乗り越えて結婚、出産、育児を共にした家族の物語。 酒井朋子/著（徳間書店）
- シンドラーに救われた少年
レオン・レイソン/著（河出書房新光社）
危険を冒しながら、ナチスの手から多くのユダヤ人の命を守ったシンドラー。その勇気の原因とは。



この他にも、いろいろな本が入っています。